

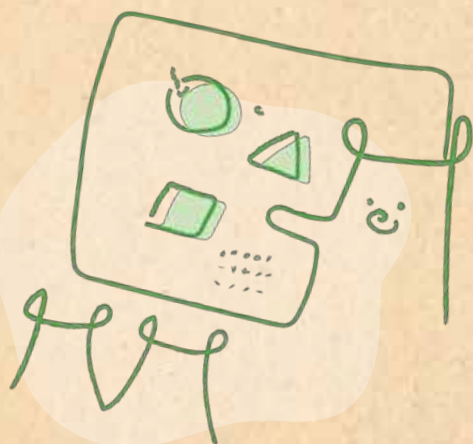


NONOICHI CITY GUIDE 2023

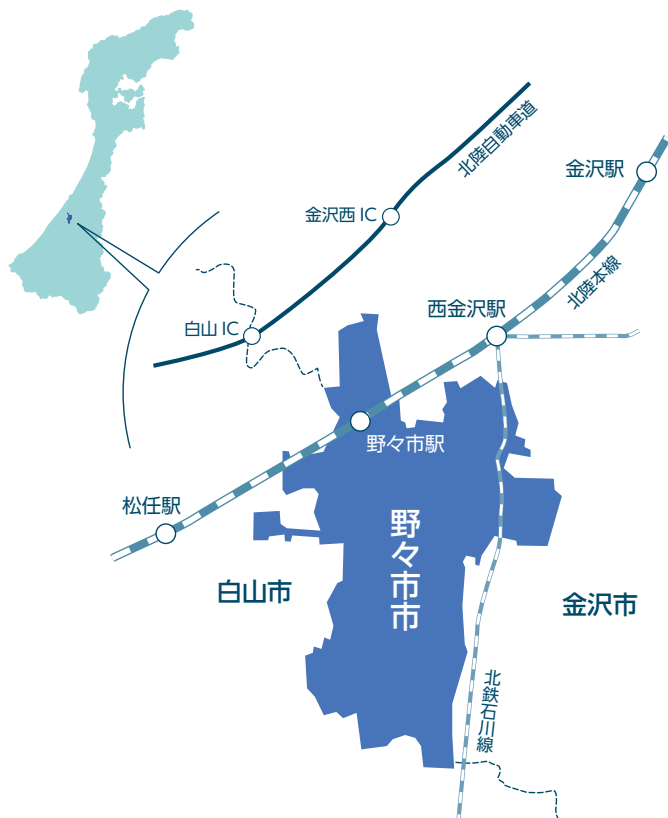
イノバクトシティ ノイチ



野々市市
市勢要覧
2023



数字で見る野々市



野々市市は、石川県のほぼ中央に位置し、山・海のない平坦地です。北東部を金沢市と、南西部を白山市にそれぞれ接しています。

石川県で一番コンパクト

第20回石川ふるさとCM大賞
「せまいところ大好き！」
※準グランプリ受賞作品



- 面積** 13.56 平方キロメートル
- 範囲** 東西 4.5 キロメートル、南北 6.7 キロメートル
- 海拔** 最高 49.6 メートル、最低 8.4 メートル
(国土地理院の基準点)
- 気温** 平均 15.7℃
最高 38.5℃ 最低 -1.9℃ (令和4年 金沢気象台)

人口

人口 57,238 人

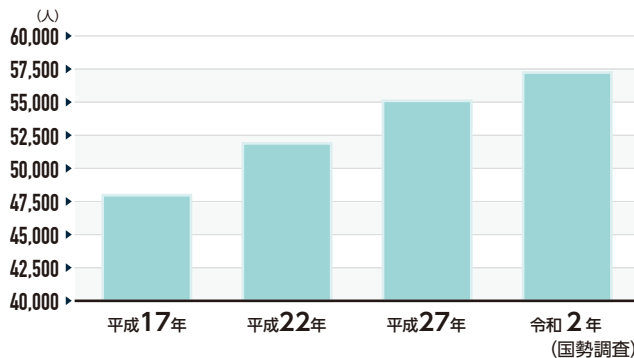
世帯数 26,200 世帯 **県内第1位**

人口密度 4,221 人/平方キロメートル

(令和2年国勢調査)

人口の推移

人口増加数、人口増加率ともに **県内第1位**



平均年齢

41.5 歳 **県内第1位**

全国市区町村中12位(若さ)
(令和2年国勢調査)



平均寿命

女性 88.6 歳 **男性 81.8 歳** **県内第1位**

女性は全国市区町村中5位
(平成27年市区町村別生命表)

第17回石川ふるさとCM大賞
「いつまでも人生の主役」
※グランプリ受賞作品



住みよさランキング

常に上位にランクイン

令和元年 全国第3位

令和2年 全国第1位

令和3年 全国第1位

令和4年 全国第3位

※「住みよさランキング」とは株式会社東洋経済新報社が全国の市区の「住みよさ」を順位付けし毎年発表しているものです。

学園都市ののいち

市内には小中学校のほか、幼稚園・高等学校・特別支援学校など、さまざまな教育施設がそろっています。また、工業系の金沢工業大学、生物資源系の石川県立大学、そして生涯学習系の放送大学石川学習センターと3校の大学が開設されており、子どもからお年寄りまで学べる、まさに学園都市といえるまちです。



幼稚園・保育園 認定こども園	小学校	中学校	高校	大学	特別支援学校
19 園	5 校	2 校	1 校	3 校	1 校

(令和4年度)

図書館蔵書数

221,025 冊

(令和3年度)

図書館貸出冊数

608,216 冊

(令和3年度)

公園数

130 か所

(令和4年度)



大型小売店数 (人口10万人当たり)

36.30 店

(平成28年度社会・人口統計体系)

県内
第1位

一般診療所数 (可住地面積100km²当たり)

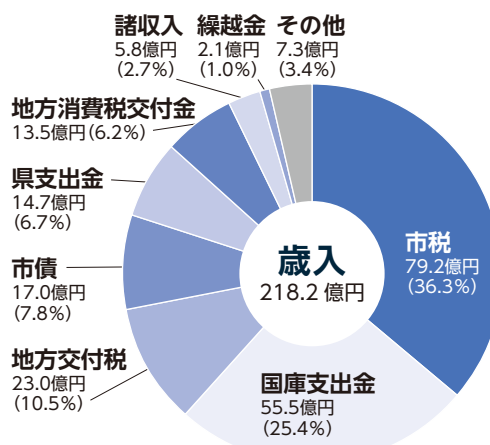
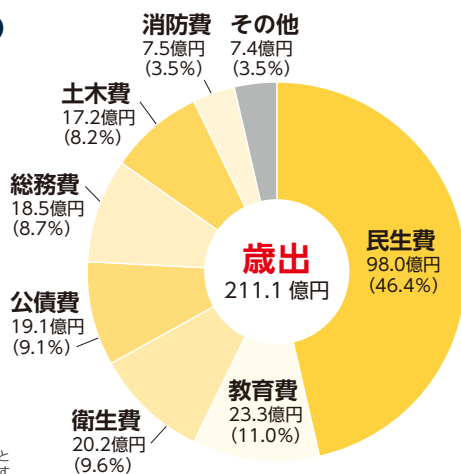
368.7 施設

(令和元年度社会・人口統計体系)

県内
第1位



一般会計の 決算状況



(令和3年度)

※端数処理しているため、内訳と合計が一致しない場合があります

見どころ MAP



② つばきの郷公園

ツバキの種の形をした大型遊具が大人気。線路の近くにあるので電車の走る姿を公園から眺めることもできます。



① 野々市中央公園・椿館・椿山

本州で唯一の国際優秀つばき園である野々市中央公園では、たくさんのツバキを楽しむことができます。多様な色や形のツバキが咲き誇る様子は、一見の価値あり！ぜひ、お気に入りの花を探してみてください。山一面がツバキに覆われた椿山からは、天気の良い日は霊峰白山を眺めることもできます。



③ にぎわいの里のいち カミーノ

公民館機能に市民協働のまちづくりを進める拠点となる市民活動センター機能を加えた公共棟と、食堂や物販コーナーをはじめ、シェアオフィスやシェアキッチンを兼ね備えた民間棟（1の1 NONOICHI）、屋外広場で構成され、より一層の賑わい創出が期待される複合施設として誕生しました。「シェアキッチン」では、食の分野で創業を目指す方が日替わりで出店し、バラエティ豊かなメニューを提供します。



④ 学びの杜のいち カレード

図書館と市民学習センターが融合した新しいカタチの生涯学習施設。図書の閲覧や貸し出しはもちろん、タブレット端末の館内貸し出しや電子図書館などICTを利用した各種サービスを提供しています。市民学習センターでは、スタジオや展示室の貸館を行っているのでさまざまな活動に活用できます。



コミュニティバスのっティ

4つのルートで市全体を網羅しているからとっても便利。市民の足として活躍しています。金沢工業大学BusStopプロジェクトが試験運用を行っている「バスどこシステム」でリアルタイムにバスの位置を把握することができます。「JR野々市駅」から「松任石川中央病院」までを往復するシャトルバス「のんキー」も運行しています。



第21回石川ふるさとCM大賞
「のっティチャレンジ」
※ローカルクラフト賞受賞作品



国史跡



市文化財



⑤ 末松廃寺跡

7世紀後半に建てられた北陸最古級の古代寺院跡で大きな塔の基壇や金堂跡などのほか、和同開珎銀銭が発見されました。

⑥ 御経塚遺跡 (ふるさと歴史館)

縄文時代後期から晩期(3700~2500年前ごろ)にかけての大規模なムラ跡。莫大な数の土器や石器が出土し、一部は重要文化財の指定を受けています。遺跡の一部は史跡公園として整備され、竪穴住居が復元されています。隣接する「ふるさと歴史館」では、御経塚遺跡をはじめ市内遺跡の出土品を展示しています。



⑦ 喜多家住宅

江戸時代は油屋を、その後酒造業を営んできました。主屋には、前面2階の太い古格子や袖壁、1階の細かい加賀格子など、現存する加賀の町家で最も古い形式が残っています。

⑧ 住吉の宮 (布市神社)

1063(康平6)年、富樫家が野々市に館を構えた際、敷地内に社殿を造営したことが始まりと伝えられています。富樫氏が「学問の神様」で知られる菅原道真をまつています。



⑨ 水毛生家住宅

かつて村役人等を務めた旧家の住宅。表構えは切妻妻入の農家型、内部の間取りは町家型となる県内では見られない建物です。
※特別公開日のみ一般公開



⑩ 郷土資料館 (旧魚住家)

旧北国街道筋にあった江戸時代末期の住宅を移築し公開。表構えは町家、その奥の間取りは農家という複合建築物です。



- ▶バスルート
のっぴー
— 北部ルート
— 中央ルート
— 西部ルート
— 南部ルート
— のんキールート

歳時記

7月下旬～8月上旬

野々市

じょんからまつり

野々市市の夏の風物詩といえば「野々市じょんからまつり」です。この地の盆踊りとして受け継がれてきた「野々市じょんから踊り」をチームごとにその出来栄を競うイベントとして市民に親しまれています。まちの人が一体となった大きな踊りの輪と、それを取り囲む大勢の見物客で会場は盛り上がります。

「野々市じょんから」の由来

「野々市じょんから節」の名称を含めた由来については、古くから諸説あります。室町時代にこのあたりで踊られていた「御贄踊り（おにえおどり）」に由来するという説、江戸時代に雷極氏の徳を讃えつつ、武士や町民、百姓などの区別なく盆に踊り明かしたという説、古浄瑠璃と都都逸（どどいつ）系の真宗と関係した歎喜嘆（かんぎたん）、くどき節が加わったという説、長崎県平戸に伝わる念仏踊りの由来ともされた「自安和楽」（自ら安んじて和やかに楽しむ）という意の転化したものであるという説、上様（じょうさま＝運如）から教えられた説などがあります。歌詞には江戸時代に人気があった芝居の「忠臣蔵」や「門出八島」、「和尚おとし」などから文句を取り歌われてきましたが、現在は「雷極略史音頭」を歌っています。踊りは、全国各地に伝わっている農作業の仕草、動作をモチーフとした振り付けとされています。



音頭の響きと
伝承の踊りは夏の風物詩



かがり火と太鼓が
水田の害虫をはらう

7月 虫送り

稲の害虫を駆除する農耕儀礼で、現在に至る伝統行事。太鼓を先頭にたいまつを持った行列が町内を練り歩きます。最後は広場に集まり、火文字と大たいまつでの点火に合わせ威勢の良い掛け声とともに激しく太鼓を打ち鳴らします。

◎富奥地区、押野、御経塚で開催



獅子舞や野菜みこしが
町中を巡行

10月 秋祭り

本町地区の「豊年野菜みこし」は、稲穂の屋根にススキの鳳凰をすえ、装飾にたまねぎやにんじんなど様々な野菜が用いられています。男たちが声をあげながら担ぎ上げ、まちを練り歩く姿は迫力満点です。また、本町と粟田・中林では大きな蚊帳の獅子と棒振りが対決する勇壮な「獅子舞」が町内を巡行します。



10月 北国街道 野々市の市



本場アーティストが
奏でるジャズの音色

11月

BIG APPLE in Nonoichi

毎年秋に全国から愛好家が集うジャズの祭典。ニューヨークから参加する一流のアーティストが奏でる素晴らしい音色と歌声が観客を魅了します。



椿をテーマとした
春の祭典

3月

花と緑のいち椿まつり

市花木に指定されている「椿」の魅力を様々な催事を通して紹介します。会場は丹精こめて育てられた椿の花で彩られ、椿を題材にした作品展や椿苗などの販売、特産物市や花の寄せ植え教室なども開かれます。



10月 野々市じょんからの里マラソン大会

特産品



野々市ブランド認定制度

地域内の特色ある製品のうち、特に優れたものを野々市ブランドとして、市が認定します。認定事業者と市が協力して認定品の販売を促進し、商品の知名度やイメージの向上により地域産業の活性化を目指します。



ヤーコン

南米アンデス原産のみずみずしくて甘い野菜。生でも加熱しても食べられます。
のいちヤーコン倶楽部 248-8954



キウイフルーツ

粒が大きく甘みがあります。ワイン等の加工品で楽しめます。
市キウイフルーツ生産組合 248-8954



野々市 ヤーコン焼酎 「うまいがいに」

ヤーコン本来のまろやかな甘みで、とても飲みやすい仕上がりに。
野々市農業協同組合 248-8954



キウイフルーツ ワイン

野々市市産の完熟キウイフルーツをふんだんに使用した、全国でも珍しいワイン。
野々市農業協同組合 248-8954



日本酒 猩々 純米酒

喜多家住宅で、昭和50年頃まで醸造されていた「猩々」が産官学共同で復刻。
中村酒造株式会社 248-2435



純米吟醸酒 「ichi 椿」

野々市市内の椿から採取した酵母を活用した日本酒。フルーティーな味わい。
中村酒造株式会社 248-2435



最中 勸進帳

歌舞伎「勸進帳」の巻物をかたどった、「難関突破の縁起物」。
ぶがく堂 214-6634



1パウンド

野々市市産の幻のサツマイモ「兼六芋」など、石川県産の食材を使用したパウンドケーキ。
菓子工房エクラタン 220-7008



土九のたい焼き

一級技能士の和菓子職人が手掛けた素材と味にこだわる本格たい焼き。
たい焼き工房土九 294-5053



野々市煎餅 愛と和

砂糖と卵の甘く素朴な味わいが、お茶菓子にぴったり。野々市らしい図案が人気。
野々市フードビジネスプロジェクト 246-1242



野々市椿まんじゅう

材料に加質つくねいもを使用した、あっさりとした上品な味わい。
いそや菓子舗 248-0154



チャンピオンカレー

ドロッと濃厚なルーにうまみが凝縮したカレー。一度食べたらやみつき。
株式会社チャンピオンカレー 248-9558



しづく工房のはちみつ

ミツバチの羽ばたきで水分を飛ばして熟成させた、完熟・非加熱の採れたてそのまま本物のはちみつ。
しづく工房 248-3700



野々市 キウイフルーツ ビネガー

フルーティーな旨みを感じる、フレッシュでマイルドな味わいが特徴。
市農産加工推進協議会 248-8954



かぶら寿し

かぶらの間にぶりを挟み込み、米麹で漬込んだ冬の味覚。
株式会社ぶった農産 248-0760



だいこん寿し

だいこんと身欠きニシンを使って漬けた、冬の家庭の味。
株式会社ぶった農産 248-0760



椿の水引アクセサリ

野々市市の市花木である椿をモチーフとした、ピンパッチとブローチ。
かねこ結納品店 248-0222



ののいち草木染

25年以上研さんを積み、作り上げてきた草木染。中にはヤーコン染も。
市商工会女性部草木染 246-1242



TITANIO (ティタニオ)

金属アレルギーを起こしにくいチタン製の指輪にチタンの持つ色を選んで加工できます。
株式会社クラフト金澤 249-8778



HAMICO ベビーハブラシ

歯科医師と歯科衛生士が開発し、赤ちゃんが握りやすく、のどまで届かない安全設計のベビー用歯ブラシ。
株式会社ホクビ 246-5430

将来都市像

かがやき無限大 + みんなでつくる
インパクトシティののいち

「インパクトシティ」には

さまざまな魅力が
市の中に入っている

=

in (イン)

インパクトを多くの人に
与える可能性をもっている

=

インパクト

県内一面積が小さい

=

コンパクトなまち

という意味が込められています。



まちづくりを進める上で大切にする3つの考え方

市民協働の
まちづくり

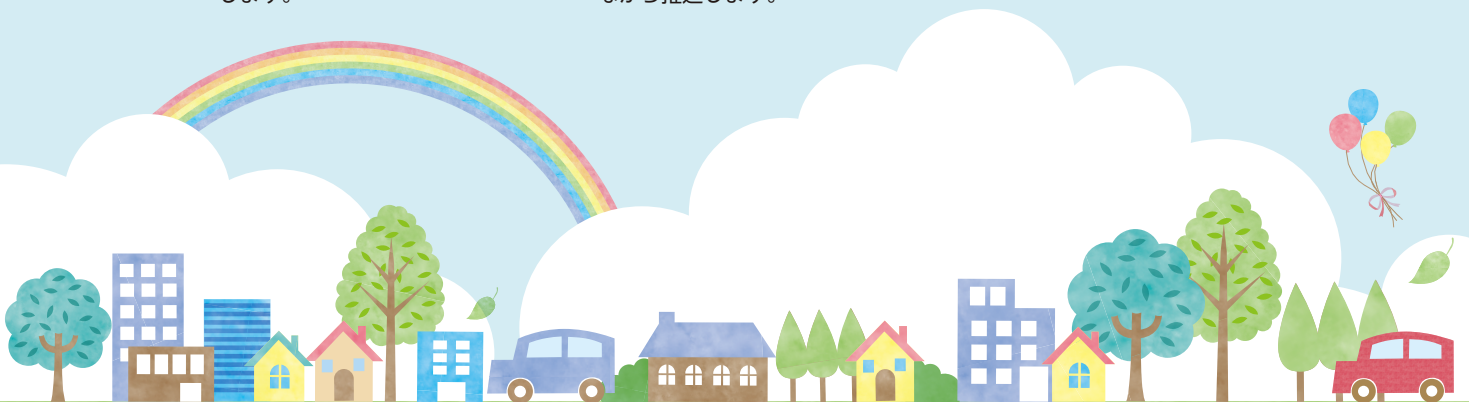
幅広い分野において、市民と行政との間で協働のまちづくりが定着していくことをめざします。

SDGs
の推進

SDGs 達成に向けた取組について、市民や団体、事業者などの多様な主体と連携を図りながら推進します。

「野々市ファン」
の拡大

野々市市を応援してくれる「野々市ファン」を増やす取組を推進します。



基本目標

1

市民生活

だれもがまちづくりの担い手となり、
自信をもってアピールできるまち



◀くわしくは
こちら

市民と行政が協働して地域の発展に取り組み、市民が誇りや愛着を感じて
住み続けたいと思うまち、市外の人々が住みたくなるまちをつくります。

1 共に考え共につくる
まちづくり

2 ふるさと意識の醸成と
愛着心の向上

3 多文化共生と
国際交流の充実

4 思いやりの
まちづくり



市民協働のまちづくり市民会議



人権の花運動



市民に期待すること

- 市や町内会、市民活動団体などが発信する情報に関心を持ち、まちづくり活動や地域の行事に積極的に参加する。
- 国籍や民族、肌の色が違っていても、同じ地域で生活している一員であるという意識を持つ。

市民と行政が協働で取り組めること

- 引っ越してきた人や大学生などの若者が地域の行事に気軽に参加できるように周知などに取り組む。
- 男女共同参画や人権意識の尊重について理解を深め、市が提供する情報を職場や地域などで共有する。

基本目標

2

福祉・保健・医療

心のかよう福祉のまち



◀くわしくは
こちら

市民同士が互いに寄り添いながら暮らすことができ、医療や介護、子育ての
支援により、健康に、安心して過ごせるまちをつくります。

1 地域共生社会
の構築

2 健康づくり
の推進

3 支援が必要な
人への福祉の推進

4 子育て支援
の推進

5 感染症対策
の推進



健康クラブ



保育園で過ごす子どもたち



市民に期待すること

- 障害や認知症などにより支援が必要な人のことを知り、地域みんなで見守り、必要に応じて市や公的機関を紹介する。
- 健康診査やがん検診を受診し、生活習慣病予防や介護予防に取り組む。

市民と行政が協働で取り組めること

- 市と町内会や地域のサークルなどが連携して、障害や認知症を抱える人などの特性や福祉制度について理解を深める機会をつくる。
- 地域ぐるみで健康づくりの意識を高める取組を行う。

野々市市第二次総合計画 2022-2031

基本目標

3

安全・安心

みんなで取り組む安全・安心なまち



くわしくは
こちら

地域の防災機能の向上を図るとともに、交通安全対策や防犯活動を進め、市民が安全・安心に過ごせるまちをつくります。

1 防災対策の充実

2 消防と救急体制の充実

3 交通安全対策の強化

4 防犯対策・消費者安全の強化



総合防災訓練



交通安全教室



市民に期待すること

- 生活必需品を備蓄するなど、日頃から災害に備えるとともに、地域の防災訓練に参加する。
- 交通ルールをしっかりと守る。

市民と行政が協働で取り組めること

- 市と町内会などが連携して、消防団員や防災士の確保・増加に向けて取り組む。
- 市と町内会や地域のサークルなどが連携して、消費者トラブルの予防に向けた勉強会の開催などに取り組む。

基本目標

4

環境

環境を考え、みんなで行動するまち



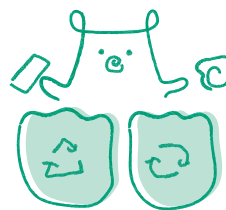
くわしくは
こちら

環境負荷の少ない社会の構築に向けた取組を進めるとともに、公害の抑制や田園の環境を保全することで、季節の彩りを身近に感じるまちをつくります。

1 環境負荷の少ない社会の構築

2 自然環境と生活環境の保全

3 循環型社会の形成



環境学習



エコステーション



市民に期待すること

- 公共交通機関の利用や、エコドライブに取り組む。
- 近くへ出かけるときは、徒歩や自転車で移動する。
- ゴミ出しのルールを守り、リデュース、リユース、リサイクル(3つのR)に取り組む。

市民と行政が協働で取り組めること

- 環境問題や3つのRなどの普及啓発に取り組む。
- 市民一斉美化清掃など、まちの美化に向けた取組を進める。

基本目標

5

教育・生涯学習・
文化・スポーツ

あらゆる世代が交流しながら、
生涯にわたって学び、楽しめるまち



くわしくは
こちら

生涯にわたって学習・スポーツ・文化芸術などを楽しむことができるまちをつくります。
また、家庭・地域・学校が一体となって「ののいちっ子」を育てます。

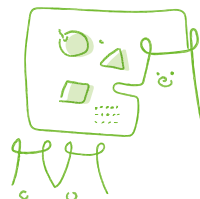
1 学校教育の充実

2 みんなで取り組む
青少年の育成

3 生涯学習の
充実

4 文化活動の
充実

5 スポーツ活動
の充実



タブレットPC活用授業



トリプルソフトバレー大会



市民に期待すること

- PTA 活動への積極的な参加や家庭教育の充実に取り組む。
- 地域の子どもの見守り活動に参加する。

市民と行政が協働で取り組めること

- 地域との連携による授業の際に、場所や機会などを提供する。
- 市と関係団体などが連携して、文化財を有効活用しながら、野々市の伝統文化を伝える機会をつくる。

基本目標

6

産業振興・地域振興

みんなが働きたくなる、
活気のあるまち



くわしくは
こちら

市民や市外の人、Uターンを考えている野々市市出身者など、さまざまな人が
立ち寄りた、働きたいと思えるような活気のあるまちをつくります。

1 商工業の活性化

2 農業の活性化

3 働きやすい環境づくり

4 魅力の創造・発信
によるにぎわいの創出



米づくり体験



女性と企業をつなぐマッチング交流会



市民に期待すること

- 野々市ブランド認定品や市内で生産された農産物を購入することを心がけ、市外の人にもその魅力を伝える。
- 市や観光物産協会などが開催するイベントに参加する。

市民と行政が協働で取り組めること

- 市と農業者、事業者などが連携して、野々市の製品のプロモーションや、地元の農作物を食べてもらう機会づくりを行う。
- 市と関係団体が連携して、野々市の魅力や特色をPRする。

野々市市第二次総合計画 2022-2031

基本目標

7

都市基盤

くらし充実 快適がゆきとどくまち



くわしくは
こちら

街並みと自然が調和し、マイカーに頼り過ぎなくても便利で充実した暮らしを送ることができるコンパクトで快適なまちをつくります。

1 魅力ある街並み形成と住環境整備

2 交通の円滑化と公共交通網の充実

3 安定した上下水道の運営



野々市中央公園と市街地



道路除雪



市民に期待すること

- 生垣や花壇を設置し、まちに花や緑を増やす。
- 地域みんなで協力して美化清掃や除雪に取り組む。

市民と行政が協働で取り組めること

- 市民と行政と一緒に考えながら、まちづくりや街並みづくりに取り組む。

基本目標

8

行財政運営

多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、市民みんなが支えるまち



くわしくは
こちら

全国に野々市ファンを増やすとともに、市民と行政の信頼関係のもとで、幅広い世代や立場の市民によって支えられるまちをつくります。

1 開かれた市政の推進

2 人材育成の推進

3 安定した行財政運営の推進



職員研修



ふるさと納税返礼品



市民に期待すること

- 市の広報紙やホームページ、SNS を見るなど、市が発信する情報に興味・関心を持つ。
- オンラインやコンビニでできる行政手続制度を活用する。

市民と行政が協働で取り組めること

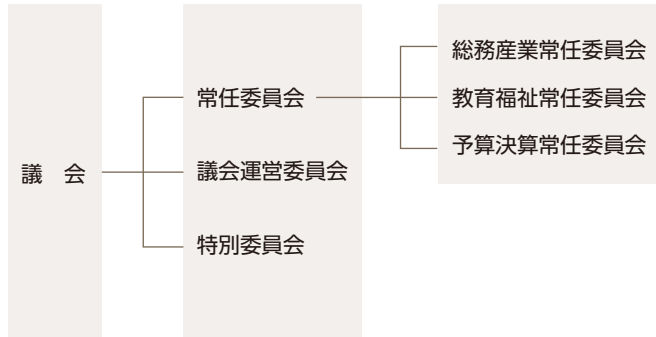
- 市民にとって便利な窓口の実現に向けて、一緒に考える。
- 町内会などの協力により、市職員が地域活動に参加できる環境をつくる。

市議会

市民を代表する 15 人の議員で構成された議会が、市が行うさまざまな仕事に必要な予算や条例など、重要なことがらを審議、決定しています。

議員全員で組織される会議を本会議といい、定期的に行われる「定例会」と、必要に応じて行われる「臨時会」があります。定例会は、毎年 3 月、6 月、9 月、12 月に開かれます。

最終的な決定（議決）は本会議で行われますが、扱われる事項は数も多く、内容も幅広い分野にわたっているため、委員会を設け、そこでより専門的、能率的に審査されます。委員会には総務産業、教育福祉、予算決算の 3 つ常任委員会、議会運営委員会、特別委員会（必要に応じて設置）があり、本会議の準備的、予備的な手続きを行っています。



野々市市 愛と和の市民憲章

遙かに霊峰白山を仰ぐ野々市市は、古くから加賀の中心として栄えたところです。

わたくしたちは、この恵まれた自然環境と歴史・文化・産業の豊かなまちに住むことを大きな誇りとし、限りなく平和で繁栄することを願い、ここに市民憲章を定めます。

- 郷土を愛し、緑ゆたかな住みよいまちをつくりましょう。
- 伝統を重んじ、教育文化の香り高いまちをつくりましょう。
- 健康を増進し、活気みなぎる明るいまちをつくりましょう。
- 勤労を尊び、感謝と奉仕の心で温かいまちをつくりましょう。
- 秩序を守り、笑顔でふれ合う和やかなまちをつくりましょう。

市の宣言

- 昭和 49 年 6 月 19 日 愛と和の都市宣言
- 昭和 59 年 3 月 19 日 平和都市宣言
- 平成 2 年 6 月 22 日 ゆとり創造宣言
- 平成 2 年 6 月 22 日 健康都市宣言
- 平成 9 年 9 月 19 日 美しいまちづくり宣言
- 令和 4 年 3 月 7 日 ゼロカーボンシティ宣言

姉妹都市



ギズボーン市
(ニュージーランド)
平成 2 年 3 月 30 日調印

友好校



深川小学
(中国)
昭和 60 年 5 月 23 日調印

野々市市発展の軌跡

1955年 [昭和30年]

- ・新生野々市町誕生
(野々市町と富奥村が合併)



1956年 [昭和31年]

- ・押野村が金沢市へ編入
郷村が野々市町と松任町へ分村編入

1957年 [昭和32年]

- ・金沢市から旧押野村の一部を編入



1960年 [昭和35年]

- ・合併5周年を記念し「町章」制定
(全国公募)

1961年 [昭和36年]

- ・末松廃寺跡から「和同開珎銀銭」発見

1965年 [昭和40年]

- ・人口1万人達成(国勢調査)
・金沢工業大学開校

1967年 [昭和42年]

- ・役場庁舎新築落成(本町2丁目地内)

1968年 [昭和43年]

- ・国鉄北陸線野々市駅落成

1970年 [昭和45年]

- ・国道8号線金沢バイパス
野々市町内全線開通

1971年 [昭和46年]

- ・石川県農業短期大学開校
「喜多家住宅」が国重要文化財に指定



1974年 [昭和49年]

- ・「愛と和」の都市宣言、
町花木に「椿」を選定

1975年 [昭和50年]

- ・人口2万人達成(国勢調査)

1976年 [昭和51年]

- ・「野々市町20年のあゆみ」刊行

1977年 [昭和52年]

- ・国指定史跡に「御経塚遺跡」指定



- ・中央公民館新築落成(本町地内)



1980年 [昭和55年]

- ・「野々市町 愛と和の町民憲章」を制定
・町民体育館落成
・人口3万人達成

1982年 [昭和57年]

- ・第1回「野々市じょんからまつり」開催

1985年 [昭和60年]

- ・野々市小学校と中国広東省深圳小学が友好校締結調印
・合併30周年記念式挙行、町旗を披露

1988年 [昭和63年]

- ・文化会館フォルテ開館



1990年 [平成2年]

- ・「花と緑のいち'90 椿まつり」開催



- ・ニュージーランド・ギズボーン市と国際姉妹都市提携調印

1991年 [平成3年]

- ・スポーツランドプール完成
・スポーツセンター落成
・第46回国民体育大会
ソフトボール競技成年男子2部開催

1992年 [平成4年]

- ・第7回国民文化祭・石川'92
「グランドメモリアルコンサート」開催

1995年 [平成7年]

- ・コミュニティFM局
「えふえむ・エヌ・ワン」開局
・第1回「BIG APPLE in Nonoichi」開催
・人口4万人達成(国勢調査)

1996年 [平成8年]

- ・町公式ホームページを開設

1998年 [平成10年]

- ・交遊舎落成

2000年 [平成12年]

- ・全国スポーツ・レクリエーション祭開催
・野々市消防署新庁舎落成

2003年 [平成15年]

- ・コミュニティバス「のっティ」試験運行開始



2005年 [平成17年]

- ・役場新庁舎（三納地内）での業務開始
- ・情報交流館カメラ営業開始
- ・石川県立大学開校

2009年 [平成21年]

- ・石川県統計情報室より4月1日付け推計人口5万人突破

2010年 [平成22年]

- ・御経塚遺跡出土品 国重要文化財に指定



- ・町内在住中野孝一さんが人間国宝に認定



- ・人口5万人達成（国勢調査）

2011年 [平成23年]

- ・野々市市誕生



2012年 [平成24年]

- ・第一次総合計画スタート

2013年 [平成25年]

- ・住民基本台帳記載人口5万人突破
- ・市公式 Facebook 開設

2014年 [平成26年]

- ・野々市市観光物産協会発足
- ・富奥防災コミュニティセンター落成

2015年 [平成27年]

- ・第66回全国植樹祭に先立ち天皇后陛下が石川県立明和特別支援学校を視察



2016年 [平成28年]

- ・市出身の米林宏昌監督作品「思い出のマーニー」が第88回米アカデミー賞長編アニメ映画賞にノミネート

2017年 [平成29年]

- ・「愛と和 花のギャラリー ののいち椿館」が開館
- ・第27回全国椿サミット野々市大会を開催
- ・文化交流拠点施設「学びの杜ののいちカレード」が開館

2018年 [平成30年]

- ・国史跡末松廃寺跡から「女子像が線刻された土製品」が出土

2019年 [令和元年]

- ・野々市ブランド認定制度を開始
- ・地域中心交流拠点施設「にぎわいの里ののいちカミーノ」が開館

2020年 [令和2年]

- ・「野々市中央公園」が国際優秀つばき園に認定
- ・返礼品を伴うふるさと納税を開始
- ・国指定重要文化財 喜多家住宅を公有化

2021年 [令和3年]

- ・市公式 Instagram 開設
- ・市制施行10周年記念セミナー開催

2022年 [令和4年]

- ・ゼロカーボンシティを宣言
- ・第二次総合計画スタート
- ・メモリアルパークののいち開園



- ・市公式 LINE アカウント開設
- ・パートナーシップ宣誓制度開始

「風おくる 一村雨に 虹きえて のの市人は たちもをやます」

(風が吹き雨も降りだしたが、野々市の人たちは仕事を止めようとしぬ)

1486年（文明18年）、京都聖護院の門主であった道興が野々市に立ち寄ったときの歌。その歌碑が布市神社境内に建っています。「市」のにぎわいが伝わるこの歌からも、活発な商業活動がこの地で何世紀にも渡って続けられてきたことがうかがい知れます。「野々市」という地名は古く、鎌倉時代後半の白山比咩神社に伝わる古文書に、水引神人と呼ばれる人たちが「野市」に住んでいたと記され、これが最古の文字史料と考えられています。



市章

旧野々市町、富奥村の合併 5 周年を記念して、昭和 35 年 6 月 15 日に制定されました。市章は、平仮名で“のの”を組み合わせ分銅を形成し、市の融和発展を象徴した簡潔清爽な意匠となっています。



市の花木・ツバキ

昭和 49 年 6 月 19 日、ツバキが市花木に選定されました。野々市市には昔から、枝ぶりの立派なツバキが多く育っていました。また、「野々市」という、白に薄い紅をさしたような美しい品種もあります。



市の公式 キャラクター

のっティ

いつのまにか野々市に住みついていた不思議な生き物“のっティ”。どこで生まれたのか、どこから来たのかは謎に包まれています。平成 15 年に運行開始したコミュニティバスに採用されたそのキャラクターはかわいらしさと話題となり、平成 22 年 2 月に野々市の公式キャラクターとなりました。



市ホームページ
<https://www.city.nonoichi.lg.jp>

野々市市では、市ホームページのほか SNS でも情報発信しています。ぜひフォローしてみてください。



市公式フェイスブック
ユーザーネーム
「@nonoichicity」



市公式インスタグラム
ユーザーネーム
「nonoichicity」



市公式 LINE
アカウント ID
「@nonoichicity」



市公式 YouTube
「野々市市チャンネル」



野々市市市勢要覧 2023

発行：令和 5 年 3 月 野々市市 地域政策部市民協働課広報広聴係
〒921-8510 石川県野々市市三納一丁目 1 番地
TEL (076) 227-6056 FAX (076) 227-6259
Eメール kyoudou@city.nonoichi.lg.jp

環境にやさしい植物油インク、有害な廃液を出さない「水なし印刷」方式、読みやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています。

